

C H A P T E R



AOMORI  
ENGLISH MODEL  
✕AEM

# AOMORI ENGLISH MODEL【使い方解説】

## 【AOMORI ENGLISH MODELの手引き】（使い方の解説）

小学校外国語単元計画シート

学年: 5, 単元名: Summer Vacation in the World, 時間単元: 8

Unit: 4, Lesson: 5, Program: 7

### ①学年/Unit/単元名/時間の設定

学年やUnit、時間のセルを左クリックすると、右側に▼が表示されます。その▼を左クリックすると、それぞれのドロップダウンリストが表示されるので、そこから作成する学年やUnit (Lesson, Program)、時間数を選択し、左クリックします。単元名は、手入力してください。

単元目標	
話すこと【発表】	うように、自分の夏休みの思い出について、単元を通して書き溜めたものの中から自分で選んで相手に伝える。
読むこと	
書くこと	
話すこと【やり取り】	
話すこと【発表】	日常生活に関する身近で簡単な事柄（時刻や日時、場所など）について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、単元を通して書き溜めたものの中から自分で選んで相手に伝えるように話すことができる。
CAN-DOリストの形での学習到達目標	

### ②単元目標の設定

※5領域から三つまで設定可能

（小学校外国語活動は3領域から）  
「単元目標」の下のセルを左クリックすると、右側に▼が表示されます。その▼を左クリックすると、5領域（3領域）のドロップダウンリストが表示されます。そこから単元の目標にする領域を選択すると、下段の「CAN-DOリスト」のセルに選択した領域が自動で表示されます。その右のセルを左クリックすると、右側に▼が表示されるので、そこから「CAN-DOリスト」の目標をA～Wから選択すると、学習到達目標が自動で入力されます。目標文については、手入力してください。

### 【補足】

下のタブ「小 CAN-DOリストデータ」「中 CAN-DOリストデータ」を左クリックすると、AOMORI CAN-DOリストがそれぞれのシートに入力されています。自校のものに書き換える場合には、それぞれのシートを書き換えてください。

パフォーマンス課題	言語材料・語彙・表現
自分の夏休みの思い出について、友達やALTの先生に伝えるように発表する。	表現 I went to ~, I enjoyed ~, I ate ~, It was ~, など 語彙 したこと (went など)、食べ物 (curry and rice など)、自然 (desert など)、デザート (cake など)、味 (bitter など)
目標を達成している児童の姿	自分の夏休みの思い出について、単元を通して書き溜めたものの中から自分で選び、友達やALTの先生に伝えるように発表している。

### ③パフォーマンス課題/言語材料・語彙・表現/目標を達成している児童生徒の姿

これらを入力することで、単元目標に応じた表が作成されます。これらの項目については、すべて手入力になります。

評価規準【話すこと【発表】】		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識 I went to [saw/ate] ~, I enjoyed ~ing, It was ~, などの表現、および場所や食べ物等に関する語句について理解している。	相手に自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、聞き手が分かりやすいように、行った場所や自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	相手に自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、聞き手が分かりやすいように、行った場所や自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。
技能 夏休みの思い出について、I went to [saw/ate] ~, I enjoyed ~ing, It was ~, などの表現、および場所や行動を表す語句などを用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。		
評価基準（ルーブリック）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 振りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	夏休みの思い出について、聞き手が分かりやすいように、行った場所や自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	夏休みの思い出について、聞き手が分かりやすいように、行った場所や自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。
A 振りのない正しい英文を用いて話すことができる。	Bに加え、相手に伝わるよう、話す内容の順番など工夫して話している。	Bに加え、相手に伝わるよう、話す内容の順番や声の大きさなど工夫して話そうとしている。

### ④評価規準/評価基準（ルーブリック）

「評価基準」のとなりには②で設定した領域名が自動で表示されます。これらを入力することで、単元目標に応じた表が作成されます。これらの項目については、すべて手入力になります。

単元計画		主な言語活動等	学習評価		
時	ねらい		知識	思考・判断・表現	態度
1	単元のゴールをイメージし、教師の夏休みの思い出を聞いて、おおよその内容を理解する。	・【Let's Sing】【Let's Chant】 ・【Starting Out①】 世界の子どもたちの夏休みの過ごし方を知る ・【Let's Try①】			
2	自然を表す語句や、エミリーとグリーン先生の対話のおおよその内容を理解する。	・【Let's Sing】【Let's Chant】 ・【Starting Out②】 エミリーとグリーン先生の対話を知る ・【Let's Read and Write②③】 夏休みに訪れた場所や楽しんだことを書く			
3	夏休みに食べたものや見たものを紹介する。	・【Let's Sing】【Let's Chant】 ・Small Talk "What did you do yesterday?" ・【Let's Listen①】 登場人物が夏休みにしたことを聞きとる ・【Let's Try②】 夏休みに食べたものについて友達と尋ね合う			
4	夏休みの思い出や感想について尋ね合う。	・【Let's Sing】【Let's Chant】 ・【Let's Listen②】 登場人物が夏休みにしたこと、気持ちを聞きとる ・【Let's Try③】 夏休みに何をしようと思ったか友達と話す ・【Let's Read and Write④⑤】 友達と話したことを書く			
5	世界の夏休みについて知る。世界の小学生の思い出を聞いておおよその内容を理解する。	・【Let's Sing】【Let's Chant】 ・Small Talk "Did you enjoy your summer vacation?" Over the Horizon ・世界の小学生や先生方の夏休みの過ごし方聞き取る			
6	夏休みの思い出について、相手に伝わりやすい工夫して話す。	・【Let's Sing】【Let's Chant】 p38 【Step1】 【Step2】 夏休みの思い出のスピーチを作る 【ことば探検】の5つのキーワードを使って友達の思い出について尋ねる	SP	SP	SP
7	夏休みの思い出について、相手に伝わりやすい工夫して話す。	・【Step3】 パフォーマンステスト 夏休みの思い出について友達やALTの先生に伝えるように発表する ・振り返り	R S W		
8	前回の内容を振り返り、夏休みの思い出について書く。	・Let's Read and Writeを参考に、自分の発表した英文を書く ・パフォーマンステストの振り返りと相互評価 ・【Sound and Letters】【世界のすてき】			
9					
後日					

### ⑤単元計画

「学習評価」のセルは、左クリックすると右側に▼が表示されます。「記録に残す評価」をする場合には、ドロップダウンリストから該当する記号を選択してください。他の項目については、手入力となります。

### ※「学習評価」の記号について

- ・聞くこと=L
- ・読むこと=R
- ・話すこと【やり取り】=S I
- ・話すこと【発表】=S P
- ・書くこと=W

# AOMORI ENGLISH MODEL【用語解説】

## 【AOMORI ENGLISH MODELについて】

AOMORI ENGLISH MODELは、「学習指導要領」と「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」の理念を、外国語学習指導に最大限反映させるために考えました。可能な限り手順を簡略化しつつも、「参考資料」で示された「目標と指導と評価の一体化」の理念を忠実に再現できるように留意して作成しています。

## 【AOMORI ENGLISH MODELの手引き】（用語・指導上の解説）

小学校外国語単元計画シート		6年	Unit 4	単元名 Summer Vacation in the World	8時間単元
<b>単元目標</b>					
話すこと【発表】					
相手によりよく分かってもらえるように、自分の夏休みの思い出について、単元を通して書き溜めたものの中から自分で選んで相手に伝えるように話すことができる。					
「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標	話すこと【発表】	ア	日常生活に関する身近で簡単な事柄（時刻や日時、場所など）について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、単元を通して書き溜めたものの中から自分で選んで相手に伝えるように話すことができる。		
<b>パフォーマンス課題</b>			<b>言語材料・語彙・表現</b>		
自分の夏休みの思い出について、友達やALTの先生に伝えるように発表する。			表現	I went to ～, I enjoyed ～, I ate ～, It was ～, など	
			語彙	したこと (went など)、食べ物 (curry and rice など)、自然 (desert など)、デザート (cake など)、味 (bitter など)	
<b>目標を達成している児童の姿</b>					
自分の夏休みの思い出について、単元を通して書き溜めたものの中から自分で選び、友達やALTの先生に伝えるように発表している。					
<b>評価規準【話すこと【発表】】</b>					
	<b>知識・技能</b>		<b>思考・判断・表現</b>		<b>主体的に学習に取り組む態度</b>
知識	I went to [saw/ate] ～, I enjoyed ～ing, It was ～, などの表現、および場所や食べ物等に関する語句などについて理解している。		相手に自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、聞き手が分かりやすいように、行った場所や自分の考えや気持ちなどを含めて話している。		相手に自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、聞き手が分かりやすいように、行った場所や自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。
技能	夏休みの思い出について、I went to [saw/ate] ～, I enjoyed ～ing, It was ～, などの表現、および場所や行動を表す語句などを用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。				
<b>評価基準（ルーブリック）</b>					
	<b>知識・技能</b>		<b>思考・判断・表現</b>		<b>主体的に学習に取り組む態度</b>
B	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。		夏休みの思い出について、聞き手が分かりやすいように、行った場所や自分の考えや気持ちなどを含めて話している。		夏休みの思い出について、聞き手が分かりやすいように、行った場所や自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。
A	誤りのない正しい英文を用いて話すことができる。		Bに加え、相手に伝えるよう、話す内容の順番など工夫して話している。		Bに加え、相手に伝えるよう、話す内容の順番や声の大きさなど工夫して話そうとしている。

※ Bに達していなければCとする

### ①単元目標

単元で重点的に扱う目標（「どのような活動」ができるようになるか、「どの領域」を中心に指導するか）を考え、「単元目標」を作成します。「単元目標」は、4技能5領域のうち一つ～二つに絞るのが一般的です。

### ②CAN-DOリスト ※自校のCAN-DOリストとの関連を記す。

「単元目標」は「CAN-DOリスト」を意識して設定します。こうすると、「どのような条件」で「どんな内容」を「どの程度」でできればいいか構想しやすくなり、卒業時の学習到達目標達成の実現に近づきます。

### ③パフォーマンス課題／言語材料・語彙・表現

「目標を達成している児童生徒の姿」を見取るにはどんな「パフォーマンス課題」が適していて、そのパフォーマンスでは教科書のどんな「言語材料・語彙・表現」が使用されていればよいのかについて記します。

### ④目標を達成している児童生徒の姿

「目標を達成している児童生徒の姿」をイメージして、どんなことができるようになってほしいかについて記します。「単元目標」と似ていますが、ここにはあくまで学習者の現実的な姿を描きます。

### ⑤評価規準

児童生徒が、どのような学習状況であれば「単元目標」を実現できているか、具体的に記したものが「評価規準」です。「評価規準」は観点ごと（知技、思判表、態度）に設定し、「おおむね満足できる（=B）」状況を示します。また、「単元目標」を複数設定した場合には、それぞれに「評価規準」を設けます。「評価規準」の書き方はある程度決まった書き方になるので、「参考資料」を参考に設定します。

### ⑥評価基準（ルーブリック）

それぞれの「評価規準」で示した付けたい力を、児童生徒がどの程度まで習得しているかを、より具体的に明示した判断基準が「評価基準」です。

「評価基準」も観点ごと（知技、思判表、態度）に設定し、「おおむね満足できる（=B）」状況と「十分満足できる（=A）」を示します。また、「評価規準」と同様に、「単元目標」を複数設定した場合には、それぞれに「評価基準」も設定します。

# AOMORI ENGLISH MODEL 【用語解説】

単元計画		主な言語活動等	学習評価		
時	ねらい		知	思	表
1	単元のゴールをイメージし、教師の夏休みの思い出を聞いて、おおよその内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【Let's Sing】 【Let's Chant】</li> <li>【Starting Out①】 世界の子供たちの夏休みの過ごし方聞く</li> <li>【Let's Try①】</li> </ul>			
2	自然を表す語句や、エミリーとグリーン先生の対話のおおよその内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【Let's Sing】 【Let's Chant】</li> <li>【Starting Out②】 エミリーとグリーン先生の対話を聞く</li> <li>【Let's Read and Write①②】 夏休みに訪れた場所や楽しんだことを書く</li> </ul>			
3	夏休みに食べたものや見たものを紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【Let's Sing】 【Let's Chant】</li> <li>Small Talk "What did you do yesterday?"</li> <li>【Let's Listen①】 登場人物が夏休みにしたことを聞きとる</li> <li>【Let's Try②】 夏休みに食べたものについて友達と尋ね合う</li> </ul>			
4	夏休みの思い出や感想について尋ね合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【Let's Sing】 【Let's Chant】</li> <li>【Let's Listen②】 登場人物が夏休みにしたこと、気持ちを聞きとる</li> <li>【Let's Try③】 夏休みに何をしようと思ったか友達と話す</li> <li>【Let's Read and Write③④】 友達と話したことを書く</li> </ul>			
5	世界の夏休みについて知る。世界の小学生の思い出を聞いておおよその内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【Let's Sing】 【Let's Chant】</li> <li>Small Talk "Did you enjoy your summer vacation?"</li> <li>Over the Horizon</li> <li>世界の小学生や先生方の夏休みの過ごし方聞き取る</li> </ul>			
6	夏休みの思い出について、相手に伝わりやすい工夫して話す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【Let's Sing】 【Let's Chant】</li> <li>p38 【Step1】 【Step2】 夏休みの思い出のスピーチを作る</li> <li>【ことば探検】 の5つのキーワードを使って友達の思い出について尋ねる</li> </ul>			
7	夏休みの思い出について、相手に伝わりやすい工夫して話す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【Step3】 パフォーマンステスト</li> <li>夏休みの思い出について友達やALTの先生に伝えるように発表する</li> <li>振り返り</li> </ul>	SP	SP	SP
8	前回の内容を振り返り、夏休みの思い出について書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Let's Read and Writeを参考に、自分の発表した英文を書く</li> <li>パフォーマンステストの振り返りと相互評価</li> <li>【Sound and Letters】 【世界の手紙】</li> </ul>			
9					

⑦

⑧

⑨

## ⑦単元計画

「単元計画」は、児童生徒が学びのゴールに辿り着くまでの設計図です。身に付けさせたい能力を確実に身に付けさせるため、重点化を図った指導を心掛けます。例えば、毎時間どういった Small Talk や言語活動を積み重ねていけば、意図した力が身に付くか考えましょう。

また、単元の終盤には、「評価規準」に従って目標の達成状況を見取ります。指導したことを評価するというのは当然ですが、「評価するために指導する」という意識をもつと、指導がより深まります。

## ⑧「見通し」と「振り返り」

児童生徒は、「単元目標」を教師と共有し、目的・場面・状況を理解して「見通し」を立てます。また、単元の終末には言語面・内容面等から自らの学びを「振り返り」ます。

## ⑨「記録に残す評価」

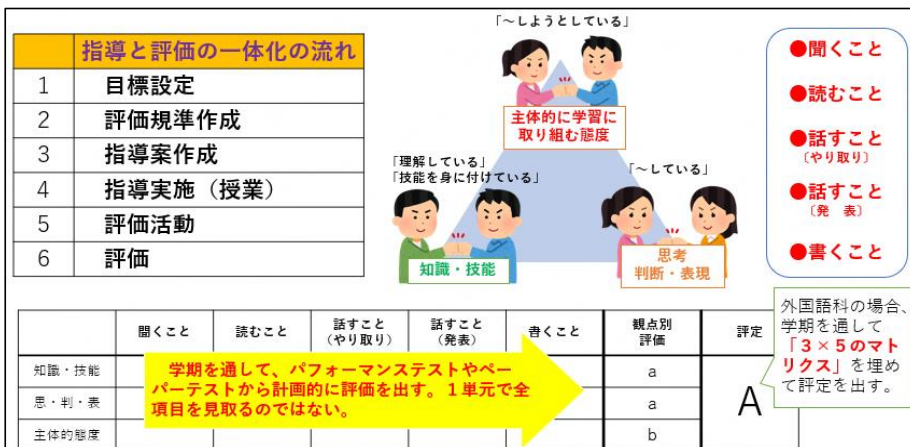
「記録に残す評価」は、指導した内容について、生徒の達成状況を見取り、記録に残して総括するための評価です。単元の終盤、十分に指導をした後に行われます。



## ※「指導に生かす評価」

「記録に残す評価」に対して、「指導に生かす評価」というものがあります。これは単元の序盤と中盤、身に付けるべき資質・能力がどれくらい身に付いているかを評価規準に照らして見取り、適切な支援を行うことで児童生徒の学習改善につなげるために行われる評価で、「単元計画」には記載されません。

## 【指導と評価の一体化の流れの概略図】



## ※ 小学校外国語活動の評価について

外国語活動の記録については、評定をつけるのではなく、評価の観点に照らして、児童の学習状況に顕著な事項がある場合にその特徴を記入する等、児童にどのような力が身に付いたかを文書で端的に記述することとなっています。

よって、AOMORI ENGLISH MODELでも外国語活動のシートには「評価基準（ルーブリック）の欄は設けていません。

外国語活動 単元計画シート

3 年 Unit 9 単元名 What's this? 4 時間単元

単元目標		
話すこと [やり取り]		
自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形などで身の回りの物を言い表したり、ある物が何かをたずねたり答えたりして伝え合うことができる。		
「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標	話すこと [やり取り]	相手に伝わるように工夫した上で、自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとする。

パフォーマンス課題	言語材料・語彙・表現	
クイズを作り、それをお互いに出したり答えたりして、自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりする。	<b>表現</b>	・What's this? ・It's ~. ・I like ~ (Unit 4の表現を参考にできる)
	<b>語彙</b>	食べ物 (food, pizza, ice cream, cakeなど) 野菜 (vegetable, carrot, onion, cucumberなど) くだもの (fruit, grapes, orange, appleなど) 動物 (animal, dog, cat, rabbitなど) 色 (red, blue, green, yellowなど) 形 (circle, triangle, squareなど)

目標を達成している児童の姿
What's this?にIt's red.やIt's circle., It's a fruit.のようなヒントを付け加えて、相手にクイズを出したり、相手からのクイズに答えたりしている。さらに、I like ~.を用いて、お互いのことを知ろうとしている。 また、相手意識をもちながら、写真やイラストを用いて相手に伝わりやすいように工夫している。

評価規準【話すこと [やり取り]】			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>知識</b>	身の回りの物についてWhat's this? It's ~.などを用いてクイズを出したり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形などで身の回りの物を言い表したり、ある物が何かをたずねたり答えたりして伝え合っている。	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形などで身の回りの物を言い表したり、ある物が何かをたずねたり答えたりして伝え合おうとしている。
<b>技能</b>			

単元計画		主な言語活動等	学習評価		
時	ねらい		知技	思判表	態度
1	身の回りの物の言い方に慣れ親しみ、ある物が何かをたずねたり答えたりする表現を知る。	○Small Talk「好きな食べ物」 ○Activity: What's this?クイズ ・ALTやHRT (JTE)のWhat's this?クイズに答える。 ・学級全体でWhat's this?クイズを考え、ALTにクイズを出す。			
2	相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。	○Small Talk「好きな野菜」 ○Activity: What's this?クイズ ・HRT (JTE)が掲示した物について、グループでWhat's this?クイズを考える。 ・グループ同士でクイズを出し合う。			
3	相手に伝わるように工夫しながら、What's this?クイズを考える。	○Small Talk「好きなくだもの」 ○Activity: What's this?クイズ ・グループでクイズに出す物を選び、What's this?クイズを考える。			
4	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、ある物についてたずねたり答えたりして伝え合ったり、相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりすることができる。	○Small Talk「好きな動物」 ○Activity: What's this?クイズ大会 ・グループ同士でクイズを出し合う。	SI	SI	SI
5					
後日					

小学校外国語 単元計画シート

6 年

Unit

4

単元名

Summer Vacation in the World

8 時間単元

単元目標		
話すこと〔発表〕		
相手によりよく分かってもらえるように、自分の夏休みの思い出について、単元を通して書き溜めたものの中から自分で選んで相手に伝えるように話すことができる。		
「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標	話すこと〔発表〕	日常生活に関する身近で簡単な事柄（時刻や日時、場所など）について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、単元を通して書き溜めたものの中から自分で選んで相手に伝えるように話すことができる。
	ア	

パフォーマンス課題	言語材料・語彙・表現				
自分の夏休みの思い出について、友達やALTの先生に伝えるように発表する。	<table border="1"> <tr> <td>表現</td> <td>I went to ～. I enjoyed ～. I ate ～. It was ～. など</td> </tr> <tr> <td>語彙</td> <td>したこと（went など）、食べ物（curry and rice など）、自然（desert など）、デザート（cake など）、味（bitter など）</td> </tr> </table>	表現	I went to ～. I enjoyed ～. I ate ～. It was ～. など	語彙	したこと（went など）、食べ物（curry and rice など）、自然（desert など）、デザート（cake など）、味（bitter など）
表現	I went to ～. I enjoyed ～. I ate ～. It was ～. など				
語彙	したこと（went など）、食べ物（curry and rice など）、自然（desert など）、デザート（cake など）、味（bitter など）				

目標を達成している児童の姿
自分の夏休みの思い出について、単元を通して書き溜めたものの中から自分で選び、友達やALTの先生に伝えるように発表している。

評価規準【話すこと〔発表〕】		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>知識</b> I went to [saw/ate] ～. I enjoyed -ing. It was ～. などの表現、および場所や食べ物等に関する語句などについて理解している。	相手に自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、聞き手が分かりやすいように、行った場所や自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	相手に自分のことをよく知ってもらうために、夏休みの思い出について、聞き手が分かりやすいように、行った場所や自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。
<b>技能</b> 夏休みの思い出について、I went to [saw/ate] ～. I enjoyed -ing. It was ～. などの表現、および場所や行動を表す語句などを用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。		
評価基準（ルーブリック）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	夏休みの思い出について、聞き手が分かりやすいように、行った場所や自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	夏休みの思い出について、聞き手が分かりやすいように、行った場所や自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。
A 誤りのない正しい英文を用いて話すことができる。	Bに加え、相手に伝えるよう、話す内容の順番など工夫して話している。	Bに加え、相手に伝えるよう、話す内容の順番や声の大きさなど工夫して話そうとしている。

※ Bに達していなければ0とする

単元計画			学習評価		
時	ねらい	主な言語活動等	知技	思判表	態度
1	単元のゴールをイメージし、教師の夏休みの思い出を聞いて、おおよその内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【Let's Sing】 【Let's Chant】</li> <li>・【Starting Out①】 世界の子どもたちの夏休みの過ごし方を聞く</li> <li>・【Let's Try①】</li> </ul>			
2	自然を表す語句や、エミリーとグリーン先生の対話のおおよその内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【Let's Sing】 【Let's Chant】</li> <li>・【Starting Out②】 エミリーとグリーン先生の対話を聞く</li> <li>・【Let's Read and Write①②】 夏休みに訪れた場所や楽しんだことを書く</li> </ul>			
3	夏休みに食べたものや見たものを紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【Let's Sing】 【Let's Chant】</li> <li>・Small Talk "What did you do yesterday?"</li> <li>・【Let's Listen①】 登場人物が夏休みにしたこと聞きとる</li> <li>・【Let's Try②】 夏休みに食べたものについて友達と尋ね合う</li> </ul>			
4	夏休みの思い出や感想について尋ね合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【Let's Sing】 【Let's Chant】</li> <li>・【Let's Listen②】 登場人物が夏休みにしたこと、気持ちを聞きとる</li> <li>・【Let's Try③】 夏休みに何をしようと思ったか友達と話す</li> <li>・【Let's Read and Write③④】 友達と話したことを書く</li> </ul>			
5	世界の夏休みについて知る。世界の小学生の思い出を聞いておおよその内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【Let's Sing】 【Let's Chant】</li> <li>・Small Talk "Did you enjoy your summer vacation?"</li> <li>Over the Horizon</li> <li>・世界の小学生や先生方の夏休みの過ごし方を聞き取る</li> </ul>			
6	夏休みの思い出について、相手に伝わりやすいよう工夫して話す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【Let's Sing】 【Let's Chant】</li> <li>p38 【Step1】 【Step2】 夏休みの思い出のスピーチを作る</li> <li>【ことば探検】の5つのキーワードを使って友達の思い出について尋ねる</li> </ul>			
7	夏休みの思い出について、相手に伝わりやすいよう工夫して話す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【Step3】 パフォーマンステスト</li> <li>夏休みの思い出について友達やALTの先生に伝えるように発表する</li> <li>・振り返り</li> </ul>	SP	SP	SP
8	前回の内容を振り返り、夏休みの思い出について書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Let's Read and Writeを参考に、自分の発表した英文を書く</li> <li>・パフォーマンステストの振り返りと相互評価</li> <li>・【Sound and Letters】 【世界のすてき】</li> </ul>			



中 学 校 外 国 語 単 元 計 画 シ ー ト

1 年 Unit 1 単元名 Friends in New Zealand 8 時間単元

単元目標		
話すこと [やり取り]		
自分の夏休みの思い出について、伝え合ったり、話したりすることができる。		
「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標	話すこと [やり取り]	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、即興で伝え合うことができる。

パフォーマンス課題		言語材料・語彙・表現	
友達やALTの先生に習慣や好きなスポーツ、食べ物などをたずねたり、聞かれたことに答えたりする。	表現	What time do you ~? / I ~. What + 名詞 do you like? / I like ~. など	
	語彙	数, 名詞 (time, sport, animal, food, subject など), 動詞 (go to bed, eat, like など)	

目標を達成している生徒の姿
おたがいのことをよりよく知るために、相手や自分の習慣や好きなこと (もの) について、簡単な語句や文を用いて、情報を即興でたずねたり答えたりしている。

評価規準【話すこと [やり取り]】			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識	What + 名詞 ~? を用いた習慣的な行動の時刻や好きなこと (もの) のたずね方や答え方、および関連する語句などについて理解している。	おたがいのことをよりよく知るために、何かをする時刻や、相手や自分が好きなこと (もの) について、簡単な語句や文を用いて、情報を即興でたずねたり答えたりしている。	おたがいのことをよりよく知るために、何かをする時刻や、相手や自分が好きなこと (もの) について、簡単な語句や文を用いて、即興でたずねたり答えたりしようとしている。
技能	What + 名詞 ~? などの習慣的な行動の時刻、および好きなこと (もの) をたずねたり答えたりする表現や語句を用いて、情報をやり取りする技能を身に付けている。		
評価基準 (ルーブリック)			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B	What + 名詞 ~? を用いた習慣的な行動の時刻や好きなこと (もの) のたずね方や答え方、および関連する語句などについてある程度理解し、情報をやり取りしている。	おたがいのことをよりよく知るために、何かをする時刻や、相手や自分が好きなこと (もの) について、簡単な語句や文を用いて、3つ以上の情報を即興でたずねたり答えたりしている。	おたがいのことをよりよく知るために、何かをする時刻や、相手や自分が好きなこと (もの) について、簡単な語句や文を用いて、即興でたずねたり答えたりしようとしている。
A	What + 名詞 ~? を用いた習慣的な行動の時刻や好きなこと (もの) のたずね方や答え方、および関連する語句などについて理解し、正しい文法や語句を用いて情報をやり取りしている。	おたがいのことをよりよく知るために、何かをする時刻や、相手や自分が好きなこと (もの) について、簡単な語句や文を用いて、5つ以上の情報を即興で正確にたずねたり答えたりしている。	おたがいのことをよりよく知るために、何かをする時刻や、相手や自分が好きなこと (もの) について、簡単な語句や文、およびあいづちやつなぎ言葉などを用いて、即興で円滑にたずねたり答えたりしようとしている。

\* Bに達していなければCとする

単元計画					
時	ねらい	主な言語活動等	学習評価		
			知技	思判表	態度
1	ALTとJTEのやり取りを見て、単元のゴールをイメージする。また、相手の状況に合わせて、指示や助言をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の目標の提示</li> <li>【Enjoy Listening】</li> <li>【Part 1】新出文法導入 (命令文)</li> <li>【Your Turn】</li> </ul>			
2	本文の内容を捉え、文脈の中で命令文を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【Enjoy Communication】小学校で慣れ親しんだ表現を復習する。</li> <li>新出単語の導入</li> <li>本文の内容理解</li> <li>本文の音読練習</li> </ul>			
3	現在の時刻や習慣的な行動の時刻をたずねたり答えたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【Enjoy Communication】小学校で慣れ親しんだ表現を復習する。</li> <li>【Part 2】新出文法導入 (What time ~?)</li> <li>【Your Turn】</li> <li>コミュニケーション・アクティビティ (パフォーマンステストに向けた準備)</li> </ul>			
4	本文の内容を捉え、文脈の中でWhat time ~? を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新出単語の導入</li> <li>本文の内容理解</li> <li>本文の音読練習</li> <li>ワークブック</li> </ul>			
5	何が好きかたずねたり答えたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【Enjoy Communication】小学校で慣れ親しんだ表現を復習する。</li> <li>【Part 3】新出文法導入 (What + 名詞 do you like?)</li> <li>【Your Turn】</li> <li>コミュニケーション・アクティビティ (パフォーマンステストに向けた準備)</li> </ul>			
6	本文の内容を捉え、文脈の中でWhat + 名詞 ~? を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新出単語の導入</li> <li>本文の内容理解</li> <li>本文の音読練習</li> <li>【Grammar for Communication】疑問詞についてまとめる。</li> </ul>			
7	友達やALTの先生と習慣や好きなスポーツ、食べ物などについてたずね合うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>パフォーマンステスト</li> <li>ALTとやり取りを行う。自分のやり取りの様子をICT機器で録画する。</li> </ul>	SI	SI	SI
8	ICT機器を活用して前回の内容を振り返り、書く活動につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器を用いて自分のパフォーマンステストの映像を見て振り返る。</li> <li>パフォーマンステストでやり取りした内容を3つ選び、書き起こす。</li> </ul>			